

家族とのつながりが深まり、  
やすらげる空間があることの喜び



# Come Home Story

ご入居後の  
お宅訪問  
No.007  
カムホームストーリー  
高知市・Yさま邸  
(旭グリーンヒルズ)  
竣工:2009年6月  
設計担当:岡本 理絵



## 最初は自然素材に興味なかった

周りの知り合いたちが家を建てはじめたことで「自分たちにも建てられるかも?」と考えはじめたYさま。奥さまの「家を建てよう」という言葉から、見学会へ行くようになったのが始まりです。初めて見るタイセイホームの家は、Yさまにとって他の住宅会社と違う「雑誌に載っているような憧れの家」だったそう。「社長の社長らしくない雰囲気驚いた(笑)」と言いながらも、いいことだけ言うのではなくデメリットも隠さず正直に話をしてくれたことに安心できたと言います。話を聞くにつれ無垢の木でつくった家が、自分たちの予算でも建てられることが分かり家づくりが前向きになりました。やさしくてやわらかい雰囲気をもった自然素材に、最初は興味なかったという旦那さまは「見学会で見ているうちにだんだん良さが分かってきた」と話します。住みはじめて3年以上がたった今でも感じる建てた時のような木の匂いや空気は変わらないよう。なにかと手間やお金、メンテナンスがかかるように思われがちな自然素材ですが、選んだことに「失敗や後悔をしたことがない」と暮らしてみてもじめて分かる良さに納得していた部分も多くあるようでした。当時は振り返り、旦那さまから「見ているうちに自然素材の良さが理解できたように、自分が“ここだ”と思う会社の家をたくさん見ると具体的なものが見えてくると思う」と家づくりを考えるご家族へのアドバイスをいただきました。

## 雰囲気づくりにこだわり

毎日使うキッチンはお掃除のことも考え天板は扱いやすいステンレスを採用しました。パイン材を使った引き出しにホワイトのペンキを塗ることで味わいのある雰囲気に、大人かわいいミルクガラスのつまみを合わせたコーディネートです。物をあまり出さずにスッキリと暮らすYさまにとって収納スペースもポイント。できるだけ目隠しの扉をつけ、出しやすく片づけやすい工夫がいっぱい。お家の中のドアも引き戸と開き戸を使い分けることで家事動線もしっかりと考えられています。リビングダイニングに違和感なくけ込む和室は旦那さまのお気に入り。扉をつけずオープンにしたことで家族とのつながりが深まり、やすらげる空間があることに喜びを感じています。奥さまのお気に入り1日を多く過ごすというリビング。パソコンコーナーやカウンターなどの平面になる部分を濃いブラウンの塗装で引きしめ、やわらかさの中に落ち着いた雰囲気を演出しています。傷やシミがいい味を出しているテーブルは、Yさまのオーダーに職人が手づくりしたもの。イスとベンチはYさまご自身が家の雰囲気に合わせて選んでいます。ミルクガラスの照明でデザインされた空間は、奥さまこだわりの“甘すぎない”シンプルナチュラルなスタイルが叶えられ、歳を重ねても自分たちに似合う雰囲気に愛着も増しているようでした。コーディネートの打合せでは自分に合ったサイズを決めるのが難しかったと話す奥さま。大切なのは、ここだけは譲れないと思うものをしっかりと定め、すべてにおいて自分たちがどんな生活をしたいかを考えてから選んでいくこと、長く考えられる時間の余裕を持つことだと話してくださいました。